

どこに避難するか？

明和町で水害が起きた場合は、次のページのように町内の全域が3m以上の深さ（家の2階以上の高さ）で浸水し、また数日から1週間程度は浸水が継続する可能性があります。そのため、できるだけ早い段階で「町外への広域(立ち退き)避難」を推奨しています。

明和町としてはこの2つを推奨

町外

安全なホテル ・旅館への避難

町外の避難先が、事前に安全な場所かどうか、確認しておく。予約・確認が必要で、通常の宿泊料がかかる場合があるが、ある程度快適な避難生活ができる。

町外

安全な親戚 ・知人宅への避難

町外の避難先が、事前に安全な場所かどうか、確認しておく。普段から災害時に避難することを相談しておく。

主な避難先

災害時の災害行動を家族と一緒に決めておきましょう

町が開設した避難場所への避難 P16参照

ハザードマップで自宅から避難場所への道順などを確認しておく。自分たちで必要なものを持参しなければならない。町内の避難場所に避難した場合、自家用車が被災してしまう可能性を覚悟する必要がある。

屋内安全確保 (在宅避難)

外に出ないで、家の中に留まること。自宅の2階でも安全を確保することができない可能性があるため、ハザードマップや防災気象情報を確認する。

町外

車中避難

浸水しない場所にある駐車場や立体駐車場に止め、車の中で過ごすこと。民間施設の駐車場を利用する場合、事前に水害時に駐車していても問題ないのかを確認しておく必要がある。

風水害時の避難について ~風水害時の避難には様々な注意点があります~

- ① 早めに車で町外への広域避難が望ましい。避難の開始が遅れた場合、大雨による道路の冠水や交通渋滞により、安全に移動することができなくなる可能性があります。
- ② 無理なら町内の避難場所へ。しかし避難場所も浸水し、電気や水道、ガス、トイレも使えなくなる可能性があります。水が引くまでの数日間を生活できるように、必要なものをあらかじめ持参して避難場所に避難することが必要です。
- ③ ペットと一緒に避難するなら、町外の親戚・知人宅が最良です。
- ④ 避難場所となる学校には多くの方が避難されるため、廊下や教室等で過ごすことになり、決して快適ではありません。

群馬大学
大学院理工学府
金井 教授

